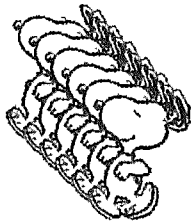


2002.5.2 あけぼの会

## あけぼの・MGF(磁場観測装置) サイエンスデータベース化の進行状況

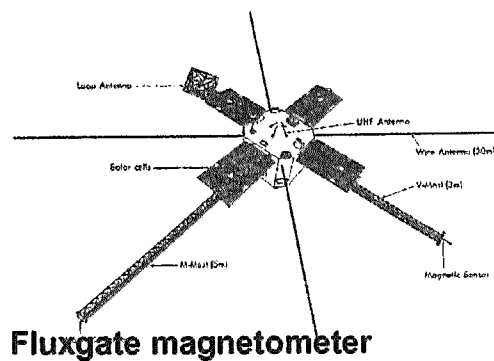


東北大 MGF処理 チーム  
平野 由美

## あけぼの磁場観測装置 (MGF)

- 3軸のフラックスゲート磁力計  
5 mのマストの先端

- 時間分解能  
32 Hz (bit-H)  
8 Hz (bit-M)  
2 Hz (bit-L)

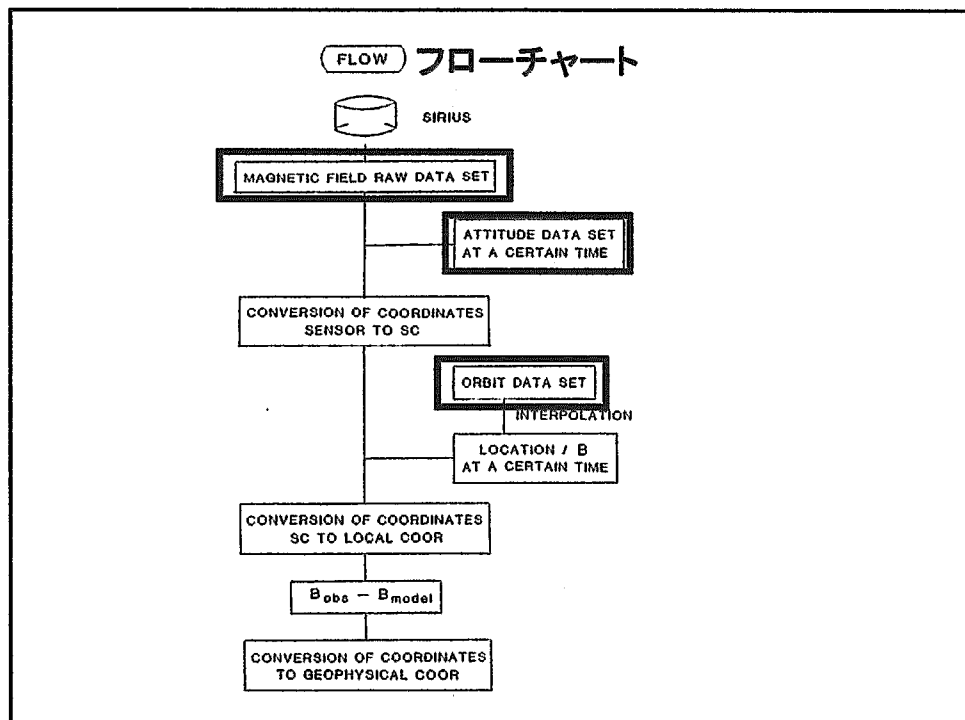


## MGF(磁場観測装置)の SDB(サイエンスデータベース)ができるまで

### ■ 必要なデータ

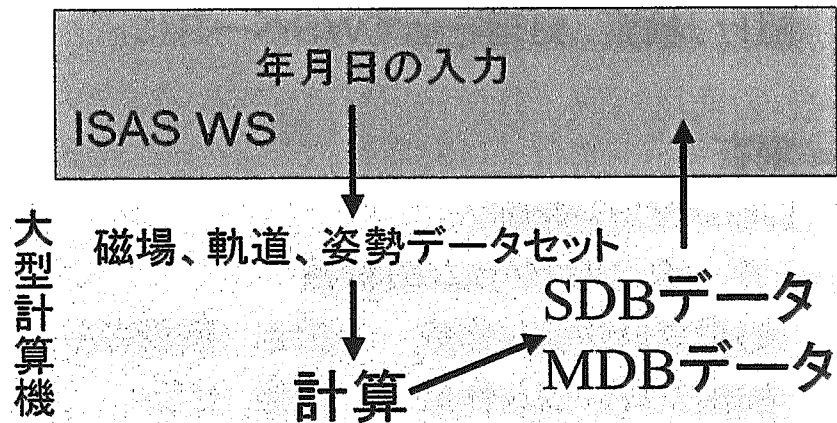
- ① 磁場データ
- ② 軌道データ
- ③ 姿勢データ

スターセンサ、太陽センサ、水平  
線センサ、地磁気センサ



## 今まで

- 大型計算機での処理→宇宙研のWS(akashi)



## 問題点

- 大型計算機での計算  
同時に使える人数に限られる(2人)  
→ 時間がかかる
  - 大型計算機の計算機能力
  - 大型計算機 ⇔ WS の通信  
→ 時間がかかる
  - プログラム上の問題  
(プログラムは東海大が担当)  
→ black boxが多い
- などなど

## これから

- 宇宙研大型計算機の廃止(2003年8月)に先駆け、検索、処理を全てWSベースに。
  
- 現在
  - Linuxマシンを購入
  - データ、プログラムの移殖
    - 処理プログラム作成 : 担当 長妻さん
    - 検索プログラム作成 : 担当 ヒラノ

## MGF データの入手法

- SDB (8秒値 データ)
  - 宇宙研(ISAS)のワークステーション(=yugiri)にアクセスし手に入れる
  - ascii dump→熊本さん作成のページにアクセスすると、ソース、使い方、簡単なreadmeが手に入る
- MDB 8 Hzサンプリング データ
  - MGFチームに直接交渉
  - 長妻さん(CRL) [nagatu@crl.go.jp](mailto:nagatu@crl.go.jp)